

臨床看護学課題研究（プライマリ・ケアNP）

[研究] 2年 通年 選択 60時間 2単位

《担当者名》○塚本容子[yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp]
山田律子[rich@hoku-iryo-u.ac.jp]
桑原ゆみ[yumi-k@hoku-iryo-u.ac.jp]
竹生礼子[take-r@hoku-iryo-u.ac.jp]
八木こずえ[co-yagi0913@hoku-iryo-u.ac.jp]
熊谷歌織[kaori@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

プライマリ・ケアNPを目指す者として看護及び医療の質向上に貢献するための、実践的な研究を行う。

【学修目標】

1. 臨床における課題を明確にし、研究のための課題を抽出することができる
2. 研究を実施するための倫理的配慮もしくは手続きを研究計画書に盛り込むことができる
3. 看護研究のプロセスに沿って、データ収集・分析そして考察まで行うことができる
4. 研究結果に基づいて、今後の看護における臨床の質を向上するために系統だったプランが作成できる
5. 研究のプロセスを通して、現場における研究の在り方が考察できる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	文献レビューおよび研究計画書の作成	1) 臨床における自己の研究疑問や関心テーマを整理する 2) 上記1)における看護研究の動向と課題を整理し、研究課題の明確化をはかる 3) 研究倫理指針に則った実現可能な研究計画書を作成する	塚本 山田 桑原 竹生 八木 熊谷
	データ収集の実施	1) 倫理的配慮に基づき、研究目的に沿ったデータの収集を行う	塚本 山田 桑原 竹生 八木 熊谷
	データ分析	1) 妥当な方法でデータの分析を行う	塚本 山田 桑原 竹生 八木 熊谷
	研究論文の作成	1) 科学的論文の条件を備えた論文の知識を整理する 2) 研究成果を論文にまとめる	塚本 山田 桑原 竹生 八木 熊谷

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

研究の準備状況、取り組み姿勢、研究方法の選択や実施の適切性が50%、主査、副査からの論文に関する評価が50%。

【教科書】

Polit, D. & Beck, C. (2007). Nursing Research: Generating and Assessing Evidence for nurse practice, Lippincott Williams & Watkins

【参考書】

適宜提示する

【備考】

論文作成のためのコンピュータソフト（ワープロ・表作成）の使い方の習得、基礎的な文献検索の技術、文献記載のためのAPAのフォーマットを十分理解しておくこと

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。